

弓道なごの

第11号

発行：長野県弓道連盟
会長 古澤 博
〒389-2253
飯山市中央橋通り
TEL.0269(62)4121
編集：県弓連広報部会
印刷：榎長野企画会議

基本に徹した修練を

長野県弓道連盟副会長

山川 茂 樹



八月に行われたアテネオリンピックで、日本選手の活躍はめざましく、連日メダル獲得のニュースがテレビやラジオで

ながれた、このような素晴らしい成果を得るまでには、厳しく苦しい修練の連続であったと思います、女子マラソンの野口みずき選手は「走った距離は裏切らない」の言葉を心に刻んで走ったとのこと、練習量からくる自信でもあったわけですが、その気力あふれた走りに感動をもらいました、またレスリングの吉田選手の技は、教科書どおりであったと解説者が讃えていました、どの選手も苦しさに耐え、乗り越えて、基本を徹底して身につけた成果であったのではないかと思います。

弓道の現状はどうであろうか、「会から離れ」の的探しをやつてはいないだろうか、弓道教本では、「現代の弓道の目的は、身体を強健にし、精神を養い、人格の陶冶に裨益し、生活内容を豊富にすることにあり、現実には技術の中のみ心をうばわれ、前後の気構えや、体の構え、動作など軽視されてはいけないだろうか」と基本体の必要性について指針を示しています。



射聖と謳われた阿波研造先生の教えのなかに「いたずらに的中のみを喜ぶな、十射の内一度でもよい、己も満足し人に感動せしめる射ができたら喜べ、的に囚われて己を忘れて何になる、全身全霊を尽くして息の続くかぎり頑張れ、妥協

して手で離すな」という言葉があります、射の基本の重要性と、弓道の高い指標を教えている言葉だと思えます。体配と射技は車の両輪の如く一体であります、基本の姿勢や基本の動作は、動作の注意点八項目を習得することにより、風格・品位が表れ、錬成された動作は見る人に感動を与えるものです。射法・射技の基本の五項目は、射術の法則である射法八節を習得するにあたって、弓射の基本として必要不可欠のできない項目であります、特に基本体型(縦横十文字の規矩と五重十字)を最も重視し、これが総合的に働くことを射の基本としています。心気の働きは、弓射の技を生かすために重要な役割をもっています、日常の修練において、技を通して心の安定、気力の充実、精神の集中等、心気の働きについて充分修練し習得することが必要です。

そのために県連の事業計画にある各種の講習会・研修会に積極的に参加して、弓射の基本を修得し、心技の向上を図るとともに、弓道のもつ高い指標を目標に、見る人に感動を与える射の形成に努めていきたいものです。

第1回全国中学生弓道大会

小椋 花選手 初代中学生チャンピオン

第1回全国中学生弓道大会が、8月16日～18日東京明治神宮至誠館弓道場で開催された。

女子個人の部で、小椋 花選手(楢川中学)が見事優勝し名誉ある初代チャンピオンとなりました。

(大会記事・結果は2ページ)



JOC日本オリンピック委員会
ジュニアオリンピックカップ
(クリスタル)

第1回全国中学校弓道大会

大会は、JOC日本オリンピック委員会の後援で、全日本弓道連盟としては初めての中学生全国大会で、各都道府県の予選を勝ち抜いた選手が、団体男子28チーム、女子36チーム、個人男子34名、女子36名、総勢400名あまりが猛暑の中熱戦が繰り広げられた。

この大会には、長野県代表として団体女子に榎川中学校(永井早織・小嶋恭子・小椋花)、男子個人に横山佳祐(飯島中学校)、女子個人に小椋花(榎川中学校)が出場、女子団体戦は、残念ながら24射6中で予選敗退、男子個人も健闘及ばず落選。女子個人では小椋花選手が奮闘8射5中以上の予選



優勝を決めた小椋選手の一射!

ラインをクリアし決勝射詰に進出した。大会3日目の決勝戦では、予選を通過した3名の選手によって射詰で優勝が争われ、大観衆が固唾を呑んで見守るなか、1射目は3名とも失中、2本目も一の立、二の立が失中、小椋選手は三の立、落ち着いて2射目を的中させ、見事初代中学生の個人優勝者に輝いた。

大会結果は次のとおり

- ◆男子団体優勝 不知火中学(熊本)
- ◆女子団体優勝 八代第一中学(熊本)
- ◆男子個人優勝 田中孝征、喜入中学(鹿児島)
- ◆女子個人優勝 小椋花、榎川中学(長野)
- 長野県選手成績
- ◆女子団体予選 榎川中学

予選通過(予選通過5中以上)

永井早織×○×× ○×○× 3中

小嶋恭子×××× ×××× 0中

小椋花××○○ ○××× 3中

6中落選(予選通過9中以上)

◆男子個人予選

横山佳祐×××× ×××× 落選

(予選通過6中以上)

◆女子個人予選

小椋花○○○○ ○××× 5中

予選通過(予選通過5中以上)

決勝射詰

内田優希(成田付属中) 千葉××3位

福島美姫(川副中) 佐賀××2位

小椋花(榎川中) 長野×○優勝

2位、3位は遠近競射による

試合後、小椋選手は「緊張する間もなく、あつという間に終わってしまった。勝ったという実感はないが、とても嬉しい」と語っていました。

天皇盃

第55回全日本男子弓道選手権大会

○9月19日〜20日/明治神宮至誠館

男子優勝者は本多政和選手(愛知)

平成13年に続く5度目の優勝。

長野県関係の成績は次の通り。

第一次選考(一手2回)採点制

新津 一夫選手 1402・8点

1回目○× 2回目×○ 58位
的中基準にパスしたものの得点が及ばず、二次選考への進出ならず。

皇后盃

第37回全日本女子弓道選手権大会

遠藤由美子選手は優秀賞

○9月21日〜22日/明治神宮至誠館

女子優勝者は小島明美選手(東京第二)

長野県関係の成績は次の通り。

第一次選考(一手2回)採点制

遠藤由美子選手 1404・8点

1回目○○ 2回目×○ 27位二次へ

久保田 智恵選手 1416・0点

1回目○○ 2回目○○ 12位二次へ

第二次選考

遠藤由美子選手 1402・8点

1回目×○ 2回目○○ 15位決勝へ

久保田 智恵選手 1385・4点

1回目×○ 2回目○× 22位

▼決勝(一手3回)的中制

遠藤由美子選手

1回○○ 2回×○ 3回×○ 計4中

順位は9位で優秀賞を獲得する立派な成績でした。

代表選手の皆さん大変ご苦労さまでした、健闘を称え、今後をこ期待申し上げます。

全信州弓道支部対抗競技会

総合優勝は諏訪支部

志村選手個人の部で遠・近優勝

○9月12日/長野運動公園弓道場

長野県弓道連盟主催による、県下17支部対抗競技会が、本年は新改築した長野運動公園弓道場で開催された。

競技会に先だつて行われた、全日本選手県大会、国体出場選手の壮行会で代表の新津一夫選手、国体の外蘭公毅成年男子監督からそれぞれ謝辞と決意表明があった。

◆近的競技(60射)

(団体) ①諏訪支部43中(志村 仁・



近的団体・総合優勝 諏訪支部

山崎泰志・相澤勝浩・長尾真樹子・今井文明) ②上小支部36中(今井康人・

村山弘信・高地美佐子・飛知和明弘・

宮川 登) ③飯山支部36中(大口晴

男・岡田宏之・古澤金蔵・石田 真・

小山喜代二) ④飯伊支部36中(松枝敏

広・木村由紀子・唐沢 章・塩沢 忍・

牧内和宏) ⑤中高支部35中(原田正

浩・武田礼子・宮阪和久・大塚利恵子・

土屋義雄)

(個人) ①志村 仁12中(諏訪) ②飛

知和明弘11中(上小) ③鷹野裕章11中

◆遠的競技(60射)

(団体) ①須高支部42中(樋口浩昭・



遠的団体優勝 須高支部

小山謙太郎・大日向淳・今井弘之・永

藤 聡) ②飯伊支部41中(松枝敏広・

木村由紀子・唐沢 章・塩沢 忍・牧

内和宏) ③松本支部37中(井垣貴夫・

丸山三夫・矢澤有史・安藤広明・宮脇

利政) ④諏訪支部35中(志村 仁・山

口久美子・相澤勝浩・山田昌代・長尾

真樹子) ⑤中高支部34中(原田正浩・

武田礼子・宮阪和久・郷道隆志・土屋

義雄)

◎16年度 長野県教士研修会

6月26日~27日/上田市宮弓道場

参加者38名

○主任講師 範士八段 宮澤 廣先生

講師 範士八段 大久保秀雄先生

県弓連会長古澤 博先生のご出席が

あり、ご挨拶をいただいた後、矢渡し

宮澤主任講師(第一介添:北村弥昌・

第二介添:田口光三)により行われた。

一手行射、射技指導、射礼など実施。

二日目は、矢渡し大久保講師(第一

介添:古澤金蔵・第二介添:北嶋晋)

で開始され、立射礼、一つの射礼を中

心に実施、その都度、講評をいただき

(個人) ①志村 仁11中(諏訪) ②井

垣貴夫11中(松本) ③桜井耕三10中(長

野)

◎総合優勝 諏訪支部



優勝者の部 遠的・近的優勝 志村 仁選手

ながら受講者は熱心に取り組んだ。

参加者は次の通り

永藤 聡・春原 一郎・宮下 重敬

田口 光三・奥山 誠治・倉島 裕

大蔵 努・渡辺 富三・北村 弥昌

宮崎 完・新津 一夫・近藤 明子

小林 克・宇野 久子・松島 貞治

山浦 博・北嶋 晋・清水 克也

平井 礼子・中曾根 浩・小池 房子

渡辺 静夫・杉田 博・宮川 登

古澤 金蔵・小池梨枝子・外蘭 公毅

中島 勁・小澤 敏之・土川 俊市

竹内 律子・井堀 孝雄・櫻井 耕三

轟 悟・今井 勉・日暮 千曲

堀内 忠和・小岩井八重子

16年度 錬士研修会

8月21日〜22日 / 飯山市弓道場
参加者35名

講師は範士八段古澤 博先生と教士七段小池梨枝子先生があたつた。

一日目、古澤 博主任講師の矢渡し(第一介添土屋義雄・第二介添高木涼子)。今回の研修会は特に「基本」を重点に、執弓の姿勢から、基本動作一つ一つを確認させながら細部に渡る指導が行われた。

二日目の矢渡しは小池梨枝子講師(第一介添木下克彦・第二介添富沢正人)。矢番え動作、肌ぬぎ・肌入れ動作、櫛さばき、失の処理、一つの射礼など参加者全員真剣に受講した。古澤講師は講評で「息合いはすべての動作の原動力」「自己に妥協しない射の修練」を力説、二日間にあたる錬士研修会を終了した。

審査合格者

〇定期中央審査

◆教士の部 7月2日 仙台

寺島 信夫(松本)

◆七段の部 7月2日 仙台

小林 克(松本)

〇(教員) 特別臨時審査

8月11日 / 飯田市 / 県営飯田

式段 中島 純子

参段 北原 康伸

五段 北原 淳子・神津 明男

北村 栄吉・正澤 好成

中野 孝志

審査合格者(地方)

〇8月29日 / 長野市営

壹段 14名 初段 20名

式段 15名

尾川 英弘・北澤 沙織・西方 由季

服部のぞみ・仲條 薫・Molay Camille

天沼めぐみ・北沢 英二・窪田みなみ

平野菜津美・志賀 裕之・松木はるな

桜井由希子・田中 崇行・伊藤 圭子

参段 13名

小林 道子・松下はるみ・佐藤 明次

松下 陽一・河野 博和・倉嶋三千華

松田 恵理・佐藤 正博・丸山 悦子

星野 理・小林 啓子・松沢 則子

上條 朱美

四段 10名

吉野 昭司・藤井慶太郎・直江 美順

大矢 誠・谷口真依子・川村 重幸

堀 由美子・谷 京子・伊藤 梓

外谷さおり

弓仲習紹介

丸子弓道会

会長 鷹野良信

丸子弓道会は、昭和四十四年一月に創設、同年十一月に丸子公園内に発起人、故工藤芳夫氏他十数名で四人立道場を作り、丸子弓道会として会則も作り会の形も整い上小支部にも加入して、活動を開始しました。

その後、昭和五十七年五月に同公園の東側に六人立の町営弓道場が新築されて、「澄心館」と名づけられて、現在

に至っています。

昭和五十五年六月より、弓道教室が開かれ現在二十五回を数える迄になり、第二回生の中には、すでに教士七段になられた人もいます。

昭和六十一年より耐暑五十射会、昭和六十二年より木曾義仲拳兵県下弓道大会も行われて、県下の弓士の皆さんに丸子弓道会を知ってもらえました。

又、月一回の例会を第三日曜日に行い、一手は審査の要領で実施し、十位迄は賞品を出して一ヶ月の射技、射法の成果を確かめ合い乍ら、技術の向上を目指して、頑張っています。

例会は当番制で、射手介添も当番が行い、誰でも出来るように、練習を行っています。

平常の練習日は、おおまかに、昼組と夜組に分ける事が出来ます。昼組は定年退職者で健康のため、夜組は職場を持つている人達です。

最後にもう一度弓道教室にふれます。平成十五年度より親子の講座を設けました。現在三組の親子が活動中です。

現在の所、会員数は五十人位ですが若い人達が少なく、頭でつちで、高齢化しているのが、新人の入会をどのようにして行くかが、当面の課題です。



全日本男女弓道選手権大会

北信越ブロック代表

久保田智恵選手(上伊那)

県代表は 男子新津選手

女子遠藤選手

7月25日/上越市弓道場

参加者 各県代表男女各4名、長野県のみ男女各6名、合計44名

競技方法

▼予選：各自一手2回を行い採点制により上位10名を選出

▼決勝：各自一手3回を行的的中制により上位各3名を選出、北信越ブロックの代表として全日本選手権大会に出場する。

◆男子の部代表者

小林 正毅(新潟)

柴田 利治(富山)

小林 憲二(新潟)

◆女子の部代表者

菊池 真理子(富山)

逸見 妙子(石川)

久保田 智恵(長野)

なお、長野県代表として出場する選手は次の通り。

男子の部 新津 一夫(長鉄)

女子の部 遠藤 由美子(上小)

第25回北信越国民体育大会

石川県が全種別一位で本国体へ

8月28、29日/石川県立武道館弓道場

▽少年男子総合順位

①石川県10点(遠的4点・近的6点)

②新潟県9点(遠的6点・近的3点)

③長野県3点(遠的2点・近的1点)

石川県、新潟県は本国体へ出場

▽少年女子総合順位

①石川県9点(遠的6点・近的3点)

②富山県8点(遠的2点・近的6点)

③長野県8点(遠的4点・近的4点)

石川県、富山県は本国体へ出場

▽成年女子総合

①石川県9点(遠的6点・近的3点)

②長野県8点(遠的2点・近的6点)

③富山県7点(遠的3点・近的4点)

石川県が本国体へ出場

外圍強化部長「早期に国体選手を出し、選手強化に取り組み、全種別本

国体出場を目指し臨みましたが、充分

に力を発揮できず、3種別とも本国体

への切符を手に入れることができませ

んでした。本年度は成年男子のみの出

場となりましたが、更に力をつけ好成

績を上げるべく厳しい練習を重ねてい

く所存です。これまでのご理解、ご声

援、また強化合宿、大会出場へのご配慮を賜りましたこと選手、関係者一同、心よりお礼申し上げます。

本年度は成年男子だけの本国体出場となりましたがベストを尽くして参ります。

◆成年男子

監督 外圍 公毅(上伊那)

選手 井垣 貴夫(松本)

同 志村 仁(諏訪)

同 牧内 和宏(飯伊)

◎本国体10月24日、27日埼玉県日高市出場選手のご健闘をお祈りいたします。

投稿 長野運動公園弓道クラブで講習会を開催

7月18日新装なった長野運動公園弓道場で講習会が行われました。

当日は、低段者から高段者の51名が参加、受講生は勿論講師の先生方も暑さを忘れる程熱心で、有意義な一日でした。

範士八段大久保秀雄会長の「講習会は弓道連盟の最大の行事であり現代弓道の最大の眼目である①射法射義の研修②礼に即した体配の修練③射品、射格の向上④人間完成は、講習会に真摯

な気持ちで取り組むことによつて完成に近づく」との挨拶で始まりました。

大久保会長、範士九段宮澤 廣講師、範士八段小林義行講師による一つの射

礼、教士七段市川茂太講師、教士七段

井堀孝雄講師、教士七段中島 勁講師

による立射礼の後、受講生による一手

行射があり、その後「介添え」、「失の

処理」の指導を受け、昼食後は射技指

導が行われました。

今回は6人の講師から指導を受けら

れるということで大勢の参加をみまし

た。懇親会は、道場の延長という感じ

で、弓談義に花が咲き和気あいあいの

一日でした。

—大山 孝吉—



男子は矢澤選手
女子は高地選手
長野県弓道遠的選手権大会兼
第55回全日本遠的選手権大会
長野県予選会

○7月18日／県営飯田弓道場

参加者42名

県連主催による遠的選手権大会が行われた。暑い一日であったが、県下各地から参加した特に若い選手が頑張った。

▽男子の部

- ①矢澤有史(松本) ②小澤剛志(上伊那) ③相沢勝浩(諏訪) ④松枝敏広(飯伊) ⑤志村 仁(諏訪)

▽女子の部

- ①高地美佐子(上小) ②山田昌代(諏訪) ③長尾真樹子(諏訪) ④木村由紀子(飯伊) ⑤伊藤 綾(上伊那)

◆全日本大会出場長野県代表

○男子 相沢勝浩(諏訪)

松枝敏広(飯伊)

○女子 高地美佐子(上小)

木村由紀子(飯伊)

全国大会は、10月30日～31日…東京
出場選手のご健闘を祈ります。

—競技部 清水—

JOCジュニアオリンピックカップ
第一回全国中学生弓道大会県予選会
団体女子は横川中学校!!

○7月24日(土)／松本市営弓道場

第一回の標記大会が、県弓道連盟主催により開催された。

参加者は、男子2名、女子10名と少ない人数であったが、今後は中学校弓道の普及、振興と各地域での取組みや育成に期待が寄せられる。



県予選団体優勝 横川中学

- 一立 永井早織
- 二立 小嶋恭子
- 三立 小椋花

成績は次の通り(12射)

◇団体女子

- 一位 横川中学校A(永井早織・小嶋恭子・小椋花) 10中
- 二位 横川中学校B(唐沢初美・唐沢仁美・永井友美) 3中

◇個人女子

- 一位 小椋花(横川中) 5中
- 二位 小嶋恭子(同) 3中
- 三位 三石奈央美(飯島中) 3中

◇個人男子

- 一位 横山 佳祐(飯島中) 2中
- 二位 赤堀 森諒(東部中) 0中

各部の一位が、県代表として8月16日～18日東京で行われる全国大会に出場

平成16年度全国高等学校総合
体育大会2004年度中国総体

団体女子の部で赤穂高校が7位入賞

○8月2日～4日

鳥取県立武道館弓道場

長野県関係の成績は次のとおり。

個人男子の部

- 菊地哲平(長野高専) 予選 4射4中
- 準決勝 4射3中
- 決勝射詰 順位なし

内堀 渉(上田東) 予選 4射2中

個人女子の部

- 滝沢美紀(松本蟻ヶ崎)予選 4射3中
- 準決勝 4射0中
- 小島亜紗美(文大長野)予選 4射2中
- 団体男子の部
- 上田 20射7中
- 団体女子の部
- 赤穂 20射11中 決勝トーナメントへ
- 決勝トーナメント1回戦
- 赤穂 12中5中 竹田(大分)
- 決勝トーナメント2回戦
- 赤穂 11中11中 那覇西(沖縄)
- 鏡射 6中5中
- 準々決勝
- 鳥取西(鳥取) 15中12中 赤穂
- 5-8位決定戦
- 赤穂10射6中 7位

第35回全日本教職員弓道選手権大会

○平成16年8月9日・10日

長野県飯田市／県営飯田弓道場

全日本教職員弓道選手権大会(第35回記念大会)が8月9日・10日の両日、長野県飯田市の県営飯田弓道場で、全国から男子362名、女子88名、計450名の参加を得て盛大に開催された。男子個人の部で飯田旭ヶ丘中学校の塩澤忍選手が5位入賞した。



女子個人決勝

(予選4射2中以上 射詰)

土屋 陽子 (千葉県)

〇〇〇〇〇〇×〇×〇 1位

荒川 操 (高知県)

〇〇〇〇〇〇×〇×× 2位

立井 万喜 (愛媛県)

〇〇〇〇× 3位

男子個人決勝

(予選4射3中以上 射詰)

塩沢 忍 (旭ヶ丘中)

〇〇〇〇〇〇× 5位

与田三喜男 (愛知県)

〇〇〇〇〇〇〇〇××〇〇 1位

高久 健 (福島県)

〇〇〇〇〇〇〇〇××〇× 2位

横野 星彦 (岡山県)

〇〇〇〇〇〇〇〇××× 3位

男子団体決勝トーナメント1回戦(6射)

長野A 2中 競射 負

長野C 2中 競射 勝

飯田 ○×× 清水 ○〇〇
松倉 ○×〇 原 ××〇
古澤 ××× 細田 ××〇

男子団体決勝トーナメント2回戦(6射)

長野C 1中 負 | 福島A 5中 勝

清水 ×× 佐藤 ○〇

原 ×× 高久 ○〇

細田 ×〇 奥山 ○×

男子団体

①東京C ②福島A ③神奈川B ③愛知A

女子団体

①愛媛A ②兵庫B ③千葉A ③栃木A

各地大会 結果報告

第3回 in 長野大会

団体優勝は飯山弓道会

〇7月11日 / 長野運動公園弓道場

参加者103名

▽団体 ①飯山弓道会 (小山喜代二・岡田宏之・河野利一) ②木曾義伸 (大島・黒石・林) ③あじさい (永島・大松・木原)

▽個人 ①大島健裕 (木曾) ②岡田宏之 (飯山) ③古澤金蔵 (飯山) ④原田正浩 (中高) ⑤中村正 (須高)

大山

私と弓道

飯伊支部

仲田 耕一 (錬五)

私の弓道を始める切っ掛けは昭和一六年軍隊入隊の体造りの為に近所の仲田順三先生について教えてもらいました。同年七月二日初段を受けたのが始です。三二年一二月に参段を受けてから翌年に初年兵で射撃記章をもらったのが忘れられずに弓道を休会して専ら狩猟に従事し、公安委員会の射撃指導員に任命されてから射撃指導に従事しておりましたが、定年になってからは金がかかりましたので弓道協会に入れて



もらい最初の大会が高齢者大会で二〇射一八中で優勝しましたが、他の人達はこの間に大きな的にどうして中らないのかと思いました。其の時先輩にそんな引き方では駄目だと言われて其れから先生方の御指導を仰ぎながらやっとの思いで錬士五段を頂戴しました。射撃も弓も全く同じで銃の引金を引いてから銃身の中を散弾が通る内は大切であり、弓も右手から弦が離れても弦から矢筈が離れる迄が大切である事は同じであります。射撃は弓道と違って前に当たったからと言っても今中らなければ只の人でスランプが有ってはなりません。其の為に正しい理論を組立てて射撃の方程式を組立てました。練習しなくても九〇点以上の自信がありません。私の最高点は九八点です。弓道も只今教本を基に方程式を組立てるのに意欲を傾注しております。古沢会長が中りを練習するな基本を身に付けければ中りは必ず後からついてくると申された事を教訓にしております。中りを重点にする弓道で最も嫌う小手先の技が身に付くと必ずスランプが来る。過日岐阜県で古沢会長が持的射礼で蛇の目を巻蕪射礼と同じ様に二本的中したのを拝見して感服しました。

第40回県下弓道伊那大会
〜一般個人で志村選手優勝〜

○7月19日/伊那市武道館弓道場

参加者218名

〔団体〕①誠道館(中山光康・相沢勝浩・土川俊市)②伊那弥生ヶ丘高校(北村・北原・東)③赤穂高校(楡原・知久・細田)

〔個人〕▽高校男子①細田将弘(赤穂)②東俊太郎(伊那弥生ヶ丘)③師岡優介(塩尻志学館)

▽高校女子①城取美文(赤穂)②岡ひろみ(赤穂)③唐沢 瞳(伊那弥生ヶ丘)▽一般①志村 仁(山二発條)②荒井清(飯伊)③湯澤幸司(東伊那)

第44回須坂大会

○9月4日〜5日/須坂市弓道場

〔高校〕近的

▽団体男子①長野西C(真岸・北村・中村)②長野東C(北原・高田・小林)

③長野日大D(佐藤・上原・小山)▽団体女子①長野西B(高野・宮川・村田)②須坂H(千葉・宮川・浦野)

③長野吉田I(山口・小原・小湊)▽個人男子①北原敬教(長野東)②内

山(長野吉田)③北村(長野西)▽個人女子①望月薫(長野高専)②宮川(須坂)③山口(長野吉田)

〔一般〕

▽近的団体①土びなA(原田正浩・大塚利恵子・土屋義雄)②両手に花ver2(戸田・飛知和・高地)③飯山(岡田・河野・小山)

▽近的個人①原田正浩(土びな)②古澤金蔵(日仏連合)③岡田宏之(飯山)▽遠的個人①岡田宏之(飯山)②原田正浩(土びな)③高地美佐子(両手に花ver2)

第50回大町市制記念県下弓道大会

○9月5日/大町市運動公園弓道場

参加者177名

◆高校の部▽団体①松商A(大平侑希・今井亮輔・大久保雅揮)②大町C(平林・池・金原)③松商C(三島・木村・大和)

▽個人①今井亮輔(松商)②宮部 望(松本蟻ヶ崎)③太田沙織(同)④大久保雅揮(松商)⑤小坂 淳(池工)

◆一般の部▽団体①池田C(山田雅亮・窪田和恵・曾根原登志男)②池田D(宮本・渡辺・平林)③混成(松倉・山田・杉村)

第19回北信地区高校弓道大会

○9月5日/長野運動公園弓道場

参加者483名(男子195名・女子288名)

☆団体▽男子①長野高専A(松浦力也・篠原 悠・柳沢亮治)②長野東B(丸茂・林・寺島)③長野日大D(佐藤・上原・小山)④長野西A(北村・夏目・大久保)⑤長野高校C(折井・成宮・霜村)

▽女子①飯山南C(山本温子・高橋望美・富井千恵美)②長野西B(高野・西澤・村田)③文大長野A(大月・中村・中沢)④長野高専A(望月・和田・水上)⑤飯山北C(服部・高野・西方)

☆個人▽男子①篠原 悠(長野高専)②北村孝晃(長野西)③林 将吾(長野東)④滝澤真司(篠ノ井)⑤袖山 淳(長野吉田)

▽女子①小林沙也加(長野南)②町田みどり(中野)③北村美咲(篠ノ井)④服部紗世子(飯山北)⑤福澤愛海(長野西)

第1回東御市弓道大会
〜群馬チームが活躍〜

○9月19日/東御市営弓道場

参加者66名

合併後初の大会が、東御市弓道協会主催で行われた。

今回は群馬県より多数の参加があり団体の部、個人の部とも上位を占めた。▽団体の部

①群馬A(高木正博・武井雄一・田中義裕・杉山今朝吉)②群馬・長野連合(飯塚・青木・浦野・高地)③群馬B(高橋・都丸・松下・田中)

▽個人の部
①武井雄一(群馬)②田中義裕(群馬)③岡田宏之(飯山)④長沢克彦(下諏訪)⑤大和邦浩(上田)

飛知和明弘

長野県弓道連盟ホームページの

メールアドレス 変更

9月1日より新アドレス

kenkyuren@yahoo.co.jp

(旧アドレス kyuren@cool.ne.jp)

弓道教歌・用語

◆あきかぜや…

秋風や白木の弓に弦はらん

去来の句である。秋風が吹きそめて、天高く空も澄み渡って、空気が乾いて来たから、弓に狂を生ずることを心配して、休ませて置いた白木の弓に弦を張って、引いて見ようかな、との意である。

白木の弓は、弦音の冴えがよく、引心地の良いものであり、また秋ともなれば、夏のようなじめじめした湿気も去って、空気が乾いて来て弓も狂わず、調子も定まって弓の為にも引く者にとっても、好ましい季節である。

◆にべ…鯨

弓の竹と木とを接着させる為に用いる膠質物(糊)の上等なものを云う。之に魚膠と獣膠とがある。魚膠は鱧・鮫等の腹中にある鯨を用い、獣膠には鹿牛等の生皮を用い、是等を弱火にて長く煮溶かし、強い粘りを出したものである。鯨弓…接着剤に鯨を用いて打った弓、肩味も良く、弦音も良いと云われている。

連盟史編集だより

編集委員会では、第三回の原稿提出を待って、全体の進捗状況や連絡を兼ねた会議を、9月3日長野市において開催した。

当日は斎藤副会長の挨拶のあと編集委員長から全体の進捗状況について報告があり、また各担当責任者からもそれぞれの調査・収集・執筆した状況について報告があった。

資料不足の中から、並々ならぬご努力と、苦心の末にまとめあげた執筆は貴重なもので完成が待ちどおしい。

今後、幅広い愛好者層の「弓道に対する想い」や、見やすく、わかりやすい年表作りなどまだまだ編集の集約作業が続きます。

9月30日の会議では、写真の選定会議が時間をかけて行われました。

各担当分野の写真に加えて、連盟史全体が写真を見てわかりやすいよう工夫されます。連盟史全体の統一した体制作りや校正など、各委員の昼夜を問わない努力がまだまだ続きます。ご支援ください。

会議報告

○9月3日/連盟史編集委員会

長野市

議題

- ・連盟史各担当の進捗状況について報告(責任者より)
- ・年表の作成について
- ・編集全体状況及び今後の計画について
- ・次回会議について
- ・その他

○9月30日/連盟史写真選定会議

長野市

・全体写真・口絵写真選定

行事及び会議予定

○県弓連常任理事会

10月16日 長野

○ねんりんびつく全国大会

10月16日〜18日 前橋

○国民体育大会

10月24日〜27日 埼玉

○全日本遠的選手権大会

10月30日・31日 東京

○北信越選手権大会

11月14日 石川

○「弓道祭」

11月23日 塩尻

○県弓連事業部会

12月12日 長野

編集後記

▼集虫の音や朝夕の涼しさに秋を感じる季節となりました。

第一回の全国中学生大会では、楢川中学校の小椋花選手が個人の部で見事初代優勝者という立派な成績を残してくれました。県弓連としても久々の快挙に沸いております。

中学生の弓道については、長野県は他県に比べ少人数です。地域での取組み姿勢や指導体制について考えなくてはと思われまます。

▼北海道の札幌へ転出された絵皮節子先生に、連盟史へのエッセイをお願いしていただきましたところ原稿とお便りをいただきました。

十段的射会や県弓連事業の記事を見て、長野県での日々がなつかしく思いますと書かれており、お元気のご様子でした。

▼連盟史も多くの皆様のご支援により追い込みに入っており、資料不足に悩ませられながら編集委員の皆さんは懸命に頑張っています。県連役員並びに会員各位のご協力・ご声援が何よりの力となっております。

(高井 忠史)

★連盟史予約注文

受付間近!! (総務部)